

# 労働衛生工学

## スタッフ

教授：東 秀憲 (HIGASHI Hidenori)  
 学位：博士 (工学) 九州大学  
 資格：甲種危険物取扱者、第一種衛生管理者  
 専門：工業物理化学 (熱力学)、エアロゾル科学技術、  
 労働衛生工学、シミュレーション



講師：大藪 貴子 (OYABU Takako)  
 学位：博士 (医学) 産業医科大学  
 資格：第一種作業環境測定士 (粉じん、特化物、金属、有機溶剤)  
 専門：分析化学、衛生学、労働衛生工学



研究室HP QRコード

## 歴代修練医

- |          |                               |  |
|----------|-------------------------------|--|
| 秋山 泉 先生  | トヨタ自動車株式会社 産業医                |  |
| 梶原 隆芳 先生 | 株式会社梶原産業医事務所                  |  |
| 永淵 祥大 先生 | 株式会社永淵産業医オフィス                 |  |
| 角谷 力 先生  | 株式会社神戸製鋼所長府製造所 産業医            |  |
| 西 賢一郎 先生 | シヤトコ株式会社 産業医<br>(産業医学推進研究会会長) |  |
| 山本 誠 先生  | ヤマハ株式会社健康管理センター 産業医           |  |
| 水口 要平 先生 | 株式会社とうかい産業医オフィス               |  |
| 岡田 崇願 先生 | 高知医療生活協同組合 産業医                |  |

## ～労働衛生工学の概要～

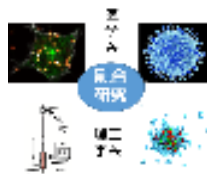
- 労働衛生工学とは、作業環境において健康障害などを引き起こす環境因子 (粉じん、有機溶剤蒸気、騒音、温度湿度など) を認識し、その濃度や強度を評価し、その発生源などを制御する方策を考えるための科学技術です。
- 労働衛生の三管理 (作業環境管理、作業管理および健康管理) のうち、特に作業環境管理と一部の作業管理に必要な知識と技術を提供します。これらの管理は環境因子による健康障害の知識と密接に関連するので、産業医が中心的に活動することが期待されています。
- 労働衛生工学研究室では、作業環境管理を的確に実施するために必要な労働衛生工学の基礎から応用までの知識を教育するとともに、粉じんを中心に環境有害因子の有害性と曝露の評価方法ならびに作業環境改善に関する実践と、さらにこれらを産業の場を活かすために必要な計測技術の開発および生体影響評価への応用を行います。



## 活動内容

作業環境管理および作業管理の観点から、主に粉じんなどの有害な環境因子のばく露の評価ならびにその発生と制御に関する研究

1. エアロゾルばく露システムの構築と微粒子の細胞応答
2. ナノ材料などの機能性化学物質の物理化学的特性とその生体影響評価
3. 気中ウイルスの検出と感染リスクの推定
4. 帯電液滴の分子ダイナミクス
5. 労働環境における粉じん、オイルミストの計測
6. 近未来の車室空間の快適性
7. エアロゾルの動態解析
8. マスクおよび呼吸用保護具の性能評価



労働衛生工学⇒産業医学への応用